

週間漁海況情報—第39号

平成22年10月12日

内容は水産研究所ホームページ <http://www.pref.tokushima.jp/tafftsc/suiken/> で公開され、毎週月曜日夜間に更新します。

徳島県立農林水産総合技術支援センター
水産研究所

1. 海況の経過

右に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県及び和歌山県が共同で作成した海況図（H22.10.12）を示した。

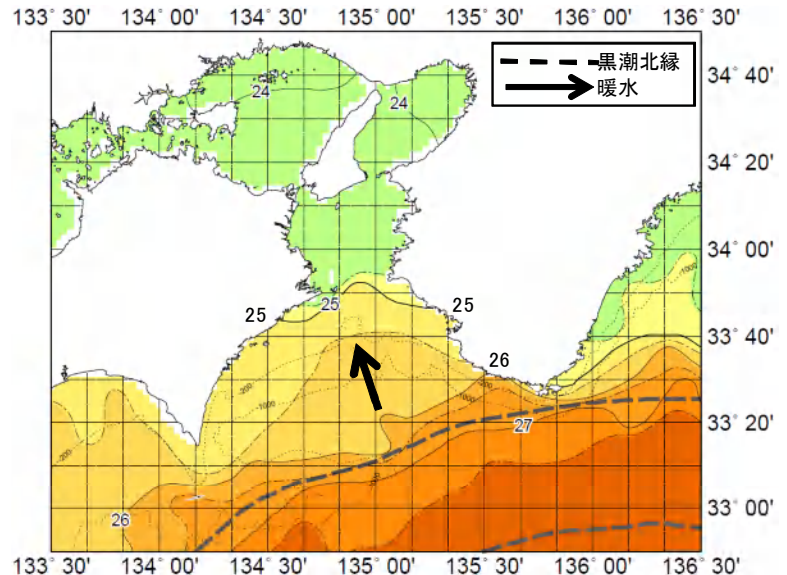
黒潮は、室戸岬沖でやや離岸、潮岬沖で接岸している。室戸岬以西では、都井岬沖で接岸、足摺岬沖でやや離岸している。

黒潮本流の表面水温は、26～27℃台である。

徳島沿岸の表面水温は、播磨灘、紀伊水道ともに24℃台、海部沿岸で24～25℃台である。

紀伊水道外域では、先週末と比べるとやや弱くなったものの和歌山県沿岸からゆるやかな暖水流入が続いている。

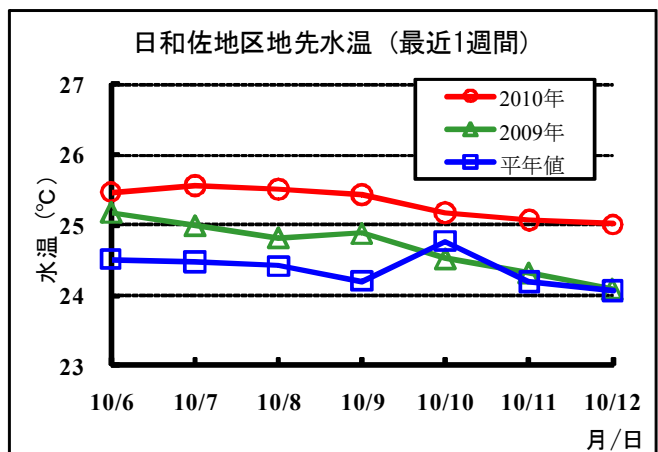
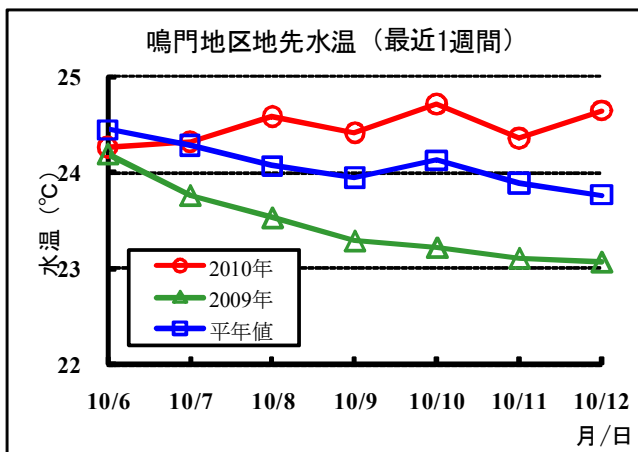
漁業調査船「とくしま」により10月5～7日に行った紀伊水道海区の海洋観測では、水温は表層～30m層で「やや高め」の25.0～25.4℃、50m層で「高め」の25.4℃であった。



紀伊水道海区観測結果

観測日		水温					塩分				
		表層	10m	20m	30m	50m	表層	10m	20m	30m	50m
10/5, 6, 7	今年値	25.0	25.1	25.2	25.4	25.4	32.5	32.9	33.2	33.4	33.8
	平年偏差	1.0	1.0	1.1	1.1	1.9	0.1	0.1	0.1	0.1	-0.2
	前年偏差	0.0	0.1	0.2	0.3	0.3	-0.2	-0.1	0.1	0.1	-0.1

地先水温 最近約1週間の地先水温は、鳴門地区で「平年並み」～「やや高め」の24.3～24.7℃、日和佐地区で「平年並み」～「やや高め」の25.0～25.6℃、牟岐地区は「やや高め」～「高め」の25.4～26.7℃で推移した。



* 水温偏差の目安

平年並み：±0.49以下、やや高め（やや低め）：±0.50～1.49、高め（低め）：±1.50～2.49、かなり高め（かなり低め）：±2.50以上

2. 漁況の経過

延縄：海部沿岸で、特大主体にアマダイが0.2トン(1日1隻当たり6kg)、カワハギが0.3トン(同8kg)水揚げされた。

小型定置網：海部沿岸で、アオリイカが0.5トン(同11kg)、カマス類が0.3トン(同7kg)、小主体にヒラソウダが0.6トン(同13kg)、小主体にマアジが0.9トン(同19kg)、マサバが0.5トン(同11kg)、小主体にマルアジが1.0トン(同21kg)、マルソウダが0.3トン(同6kg)、小主体にアカカマスが0.3トン(同7kg)水揚げされた。

釣り：海部沿岸で、特大・マメ主体にカツオが1.4トン(同19kg)、小主体にキハダが1.1トン(同15kg)、小小主体にシイラが0.2トン(同3kg)、紀伊水道で、中主体にサワラが0.7トン(同42kg)水揚げされた。

パッチ網：紀伊水道で、シラスが45.6トン(同475kg)水揚げされた。

漁業種類別集計表(抜粋) 10月04日～10月10日

県下5漁協から聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚種	延べ出漁隻数	漁獲量(kg)	1日1隻当たり漁獲量(kg)	銘柄・その他	
延縄	海部沿岸	アマダイ	39	235	6	特大主体	
		カワハギ	39	303	8		
小型定置網		アオリイカ	48	541	11		
		カマス類	48	330	7		
		ヒラソウダ	48	607	13	小主体	
		マアジ	48	904	19	小主体	
		マサバ	48	526	11		
		マルアジ	48	1,016	21	小主体	
		マルソウダ	48	268	6		
		アカカマス	48	332	7	小主体	
釣り	紀伊水道	カツオ	73	1,421	19	特大・マメ主体	
		キハダ	73	1,125	15	小主体	
		シイラ	73	224	3	小小主体	
		サワラ	17	710	42	中主体	
パッチ網			シラス	96	45,600	475	

週間予報：黒潮は室戸岬沖で「やや離岸」～「接岸」、潮岬沖で「接岸」で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先は「やや高め」の24℃台、日和佐地先は「やや高め」の24℃台～25℃台前半で推移する見込み。

他県情報：宮崎県のパッチ網でシラスが20.1トン(1日1隻(統)当たり2.2トン)、高知県芸東地区の大型定置網でマアジが13トン(同2.2トン)水揚げされた。

昨年同時期の主な漁獲傾向：昨年の10月12日～18日には、海部沿岸の延縄でカワハギ0.5トン、小型定置網で中主体にタチウオ2.8トン、小主体にヒラソウダ1.0トン、紀伊水道の釣りでサワラ1.0トン、タチウオ0.7トン、紀伊水道のパッチ網でシラス31トンが漁獲されていた。